

～ヤングボランティアワークス2019夏～

大学生ボランティアが特殊詐欺の被害防止を啓発

令和元年8月27日(火)、県内で活動する**大学生ボランティア3団体41名が集い**、名古屋市千種区内において、**特殊詐欺の被害防止のための啓発活動を実施**しました。

参加学生は、千種警察署で「特殊詐欺の現状と対策」について講義を受けた後、複数の班に分かれ、**警察官立会いのもと、署周辺の金融機関、ショッピングセンターやコンビニのATMコーナーに立ち寄り**、ATM利用者等に対して、**チラシの配布や声掛けを行い、特殊詐欺に対する注意喚起**を図りました。

【参加団体】

- ・APP [あいちパトロールピーポー] (名城大学、中京大学ほか)
- ・TOPS (東海学園大学)
- ・APT (名古屋学院大学)



活動に参加した東海学園大学 加藤 實 教授は、
「通行している人に声を掛ける際には、警戒心を与えないための工夫が必要。今回の経験を生かして、若い力で防犯ボランティア活動をより活発化し、住みよい地域社会をつくる原動力になってもらいたい。」
と、若者の今後の活動に期待を寄せていました。